

物価高に苦しむ市民のくらしを守る！



「新図書館という争点はあったものの、物価高騰や観光低迷で閉塞(へいそく)感の漂うまちの変革を求める空気が、女性・非自民という異例の市長を生み出した」

2025年5月27日の伊豆新聞でこう報道された5月の市長選では、私たち日本共産党も、長年続いた自公市政からの転換を求める多くの市民と立場を同じくして選挙に臨みました。

しかし、田久保市長は自ら公約した「市民ファースト」に反して、学歴詐称疑惑や「卒業証書問題」などで市民が納得する説明をしないため、私たちは不信任案に賛成してその責任を問いました。

それに対して市長は市議会を解散しましたが、これは自らの問題を棚に上げた大義のない行動です。

議会は9月市議会で、市民のくらしにつながる教育長などの人事や補正予算の審議より市長不信任を優先させ、議会初日にその議決を行いました。

そうした中で、共産党議員は「市長の疑惑解明」と「議会本来の役割を果たすこと」を両立させるように努力してきました。

くらしを守る、子ども・市民応援のあったか市政をつくるため、実績も豊富な共産党の議員への、みなさんの大きなご支援をお願いします。

～共産党議員 この2年間の豊かな実績～

① タクシーチケットの利用は 70歳以上だれでもOKに！

- 「バス停まで歩けない人もいる。バスチケット補助をタクシー利用にも拡充して！」一文書や対面での交渉を重ね、昨年の八幡野タウンミーティングでは「必要」との市長答弁を引き出し、ついに今年度から実施へ。
- 70歳以上の高齢者は、届いたはがきを持ってアピユタやタクシー会社に行けば、5千円で1万5百円分のチケットが購入できるようになりました。

② 子ども食堂への市の補助金が毎月5千円から6千円へアップ！

- 年間では1万2千円のアップです。市民団体と共に粘り強く交渉しました。

③ 給食無償化・次年度以降の継続に道を開く！

- 国待ちではなく、市の財源をまず充当するよう市長にも働きかけました。

子ども・市民応援 ― まずは次の4つから

- ① **エアコン購入費を7万円まで助成**
国へ補助金を申請し、65歳以上の非課税世帯に
- ② 夏休みの学童保育所等の**希望児童にセンター給食を提供**
※越谷市:事前申込みで一食260円を前払い(2018年)
- ③ 小・中学生の**通学交通費の保護者負担を減らす**
- ④ 伊豆の多くの市町に続き、**加齢性難聴のための補聴器購入助成(3万円)**を直ちに実施。

市民に信頼され 市民とともに歩む市政 にしていきます

◎ 市民が納得できる公平で公正な市政を実現

- 公平で公正な市政の意思決定のために、実効性のある仕組みとルールを作ります。
- 情報公開を徹底して、市政への市民の参画が最大限保証され、市民の納得にもとづく市政運営にしていきます。

◎ 宇佐美子ども園は安全な場所に 宇佐美保育園は早急な移転を

- 宇佐美子ども園は、商業施設との併設をやめ津波被害のない地域に建設。
- 宇佐美保育園は、近隣教育施設の一時的活用などの代案を早急に具体化します。

◎ 図書館サービスは分散ネットワーク型で

- 図書館サービス全般の検討と並行して、新図書館の代替案を市民代表・専門家を交えて早急に具体化します。市議会にも特別委員会を設置して検討を促進します。
- 図書館は分散配置して身近なところに。既存施設の活用。コミセン図書室を含めてネットワーク化して配本サービスを充実。電子書籍などデジタル対応を進めます。

◎ 文化ホールは「国際観光温泉文化都市」にふさわしいものに

- 市民文化の向上とまちの活性化の視点から、持続可能な財政負担を前提に、市民参加で構想を練り上げます。
- 立地については、周辺道路の問題(西小跡地:正門前の一方通行路・猪戸通りからの狭い旧道)など、市民の懸念に応えながら検討します。

◎ 海岸線整備は慎重な検討を 汚染土埋立ては観光にもマイナス

- 伊東港・海岸整備は、積極的な情報公開と周辺を含むまちづくりの一環としての検討を求めます。有害な建設残土の埋め立ては健康・観光面から絶対反対！

【こんなまちに】 子どもを育てやすい

- 安全安心な給食の無償化を継続し、幼稚園・保育園にも広がります。
- 学校統合に向けては、小規模校・大規模校それぞれの良さを認め、合併後の伊東小学校の実情も検証し、保護者、地域の意見を聞きながら合意を形成します。
- 増加する不登校問題に対応し、行政と市民・保護者が共に取り組む体制を作ります。
- 子ども食堂や無料塾への支援を強め手続きを簡素化。関係者の交流会を開きます。

【こんなまちに】 高齢者が安心して楽しく暮らせる

- 高齢者の買い物や通院の足を守る交通手段づくりに力を入れます。
- 市営住宅の整備(エレベーター・お風呂・様式トイレ・エアコン設置)を順次進め、高齢者も安心して暮らせるようにしていきます。
- 高齢者の居場所活動への補助を継続し、拡充をめざします。
- 介護の状況に応じておむつクーポンなどを支給します。

【こんなまちに】 労働条件やルールが守られ働きやすい

- 市長と勤労者との懇談会を実施。労働基準監督署などと協力して問題に対応します。
- 市の受注企業の労働条件を調べ、勤労者を守る公契約条例をつくります。
- 市内零細業者の声がきめ細かく市政に反映されるよう、行政との懇談会を設けます。
- 業者の営業と生活を圧迫するインボイス制度の廃止を求め、国にも働きかけます。

【こんなまちに】 来ても住んでも楽しく魅力がある！

- 伊東駅周辺整備計画を見直し、便利で景観も良い駅前にしていきます。西口駅前通り拡幅など安全なまちづくりに努めます。
- 歩いて楽しい中心市街地づくりと商店街の活性化のために、市内外の幅広い参加者による研究会などを開催し、魅力的なまちづくりプランを作成します。
- 移住定住をさらに進め、分譲地やマンションの自治会との連携を密にしながら、空き家・空き別荘対策と公園などの地域格差解消に取り組みます。

【こんなまちに】 誰もがファースト 多文化共生

- 市内在住外国人の方々と行政の懇談会を開き、その要望を生かします。
- 移住や手続き、問題への対応に備え、外国籍の非常勤職員の採用を検討します。

◎ 異常気象による風水害に備えて対策の強化を

- 先日の台風15号による大雨と突風は、伊東市内各地に被害をもたらしました。防災対策を異常気象に対応したレベルまで引き上げる必要があります。

◎ 急激な物価高騰から市民のくらしを守る対策を進めます

- 消費税はまず5%減税を国に求めつつ、これ以上市の公共料金には転嫁しません。
- 国保税の均等割半額を小中学生にも拡充し、さらなる負担軽減をめざします。

◎ 医療制度の充実をめざします

- 市民病院の産科・小児科の充実のため、関係者と早急な協議を行います。
- 市民病院と市当局・議会の協議議事録を公開。市民と病院側の懇談を設定します。
- 国に対して、紙の健康保険証の存続を求めます。

◎ メガソーラー建設反対を貫き、市の環境を守ります

- 市民の声を背景に業者と交渉を進め、メガソーラー建設問題を最終的に解決します。
- 小規模ソーラー補助制度の周知を図り、補助額を増やします。
- 市民とともに、小規模発電の可能性について検討を進めます。

◎ 「核兵器廃絶平和都市宣言」の具体化を図ります

- 「核兵器廃絶平和都市宣言」に込められた精神を活かし、被爆地などへの中高生平和使節の派遣をはじめとする平和教育に取り組みます。

◎ 市民の性の多様性を尊重します

- 同性婚の届け出を受け付けるパートナーシップ制度を実現します。
- 学校教育や社会教育で多様な性への理解と適切な対応を進めます。

憲法をくらしに活かす市政に！

「基本的人権の享有」(11条) 「生命、自由及び幸福追求の権利」(13条)

「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」(25条)

私たちは、憲法のこうした条項を市政に活かして、市民のくらしを守るためにみなさんとともに、問題解決と公約の実現に取り組みます。

日本共産党は旧市政の復活を許さず、今後も現市長不信任の立場に立ってこれらの要望の実現に努力します。

「明るい伊東」秋号外(2025年10月7日)

日本共産党伊東市委員会は、以上のような市政政策を発表しました。

発行責任者——日本共産党伊東市委員会(湯川2-11-5) 36-1735